

# 2022 年度事業報告

2023年5月1日

## 2022年度の主な事業報告

社会福祉法人 ちいろば会

### 【理事会・評議員会】

#### 1) 理事会

- ・2022年度第1回 定例理事会

開催日時： 2022年5月27日（金）13時30分～15時30分

2021年度第2回 補正予算案の承認の件

2021年度事業報告及び計算書類の承認の件

経理規程の一部変更の承認の件

2022年度定時評議員会の招集の決定の件

- ・2022年度臨時（8月）理事会

決議があったものとみなされた日： 2022年9月5日（月）

決議があったものとみなされた事項の内容：

給与規程ならびに就業規則の一部を変更する件

- ・2022年度臨時（11月）

決議があったものとみなされた日： 2022年12月2日（金）

決議があったものとみなされた事項の内容：

育児・介護休業規程の改正の件

- ・2022年度第2回 定例理事会

開催日時： 2023年3月24日（金）13時30分～15時25分

2022年度補正予算案の承認の件

2023年度事業計画ならびに予算案の承認の件

理事長ならびに業務執行理事の職務の遂行状況報告

任期満了に伴う役員改選の手続きについて報告

#### 2) 評議員会

- ・2022年度 定時評議委員会

開催日時： 2022年6月10日（金）10時30分～11時40分

2021年度事業報告

2021年度計算書類・財産目録の承認の件

### 【年度目標】

「利用者主体の事業所を実現する！」

—利用者が主体的に活動できる環境整備に取り組む—

評価： 日常活動においても、職員主導での活動から利用者が主体的に参加できる環境設定を目標に掲げて取り組んだ。

ちいろば園においては、朝の会、終りの会等の進行を利用者に移行するよう年度当初からの

目標としたが、具体的な取組みが遅れ年度末までには各グループで利用者へ移行できたが、まだまだ、見直しが必要である。グループホームにおいては、担当する職員間での支援方法や対応が統一できていないことから、利用者を生活主体とする取組みは進んでおらず、今後、職員間での支援や対応を統一して、利用者が主体的に活動できる環境を作り出していく必要がある。

## 【事業報告】

### 社会福祉事業

#### 1. 利用状況

<ちいろば園> (生活介護) 定員 58 名、年間稼働日数 251 日

(新型コロナウイルス感染者発生による在宅支援日含む)

##### ① 利用者の状況

登録者数 51 名 (3 月末現在) 長期欠席 1 名

一日平均利用 46.4 名 前年比 +0.7 名、年間平均稼働率 80.0% 前年比 +1.3%

今年度も新型コロナウイルスの感染による臨時休業が度重なった。その内 2 回はクラスターに至ったものの、重症化する者はなかった。

利用実績は、感染による療養期間の短縮により昨年度より若干の回復はあったものの、感染予防のための長期欠席者もあり、昨年度に引き続き低く推移している。

##### ② 作業活動

作業活動による年間売上 8,784,718 円 前年比 +6.7% (+552,946 円)

利用者平均工賃 6,285 円/月 前年比 -488 円/月 40 円/時

徐々にではあるが、町内外の各種団体からクッキー等の発注が増加しつつあり、売上は増加したものの、光熱費、原材料費の高騰で一人あたりの工賃額は下がっている。また、シンコー食産が斑鳩町にあらたにカフェを開店され、店舗メニューに使用するクッキーを発注下さり利用者のやりがいにも繋がっている。

下請け作業については、昨年度から新たに受注したコーエイ (株) の作業によって、ミサト履物からの作業が減少する冬場にもコンスタントに作業活動ができるようになった。

<ちいろば生活支援センター> (特定相談支援、障害児相談支援)

計画相談については、当年度も本法人サービス利用者と共に必要と認める依頼者のみに限定して実施している。

<にぬふぁ星> (共同生活援助) 定員 24 名、現員 24 名 (3 月末現在)

- ・にぬふぁ星 定員 6 名 — 現員 6 名
- ・エンゼルハウス 定員 5 名 — 現員 5 名
- ・ユイマールⅡ 定員 2 名 — 現員 2 名
- ・日之出荘 定員 6 名 — 現員 6 名
- ・すみれ荘 定員 6 名 — 現員 6 名

すみれ荘の稼働日数を増やすため、職員募集を継続していたが、中々、応募者が発生せず、3 月

になって応募者があり、新年度 5 月よりすみれ荘も月 2 回の帰省ペースでの稼働ができる予定である。

### 公益的取組

- ・地域公益事業としての行事の実施状況については行事報告にて報告。
- ・小中学生への 200 円ランチについては、新型コロナウイルスの感染と周知が行き渡っていなかったことから利用者は数件に留まっている。  
3 月に三郷北小学校 3 年生が久しぶりに地域学習で来園してくれた際に周知したので、春休みの利用者は増加した。
- ・認知症カフェについては、感染予防のため今年度は実施されていない。

## 2. 事業運営の評価と課題

### <ちいろば園>

当年度は年度途中の職員の退職はなかったものの、入職 3 年以内の職員が多数派となり、一泊旅行をはじめとした行事の未経験者が多くなり、習熟度の高い職員への負担が増加している。今後、コロナ前の取組みを再開していくうえで、未経験職員への丁寧な指導、伝達が重要である。

利用者が主体的に活動できる環境設定については、職員間での温度差があり、未だ、「出来る人に来ることをしてもらおう」範疇に留まっている部分については職員の意識改革が必要である。

### <ちいろば生活支援センター>

感染予防により、移動支援等の利用が激減している。今後、新型コロナウイルスが第 5 類に移行した際には、移動支援、行動援護等のサービス利用のニーズは増加することが予想されるが、ニーズに対応できる事業者の確保が大きな課題である。

### <にぬふぁ星>

グループホームの再編問題については私たちの主張とは反し、通過型の類型が新設され、大型化等についても規制するような内容は盛り込まれることもなくグループホームの定義変更が決定した。

また、今後、グループホームの運営については、泊り勤務のできる職員の確保が大きな課題であり、事業継続、事業拡大が非常に困難な状況が発生している。

### 【行事報告】

- ・6 月 11 日（土）上映会「ニジノキセキ」 参加者 48 名（内職員 15 名）
- ・8 月 11 日（木）ちいろば園流しそうめん（感染予防のためそうめんをカップで流した）
- ・8 月 27 日（土）兄弟姉妹の会 利用者姉妹 1 名 職員 3 名
- ・9 月 10 日（土）ちいろばまつり 感染者発生のため中止
- ・9 月 15～16 日 一泊旅行 感染者発生のため延期
- ・10 月 2～3 日 一泊旅行 参加者 45 名（内職員 15 名）
- ・11 月 3 日（木）憲法まつり出店
- ・11 月 17 日（木）人権フェスタ出店

- ・12月10日（土）クリスマスコンサート 参加者41名
- ・12月22日（木）ちいろば園クリスマス礼拝、パーティー開催
- ・2月23日（火）「コロナに負けるなお祭りだパートⅢ」 園内利用者、職員のみで開催

評価：・今年度は、恒例行事は基本的に実施する予定で進めたものの、ちいろばまつりについては、直前に職員の感染が判明して中止となりその影響から一泊旅行も延期して実施することとなった。また、職員の入れ替わりにより行事を経験していない職員が増加したことにより、いずれの行事もこれまでどおりの実施が困難になっている。

- ・上映会、クリスマスコンサートについては、久しぶりの外部からの来場者を招いての行事で内容も充実して好評を得ることができた。

#### 【研修会等】

- ・初任者研修 2022年4月21日、2022年8月25日、2023年1月25日
- ・夏季法人研修 2022年8月16日  
性の多様性を知って考えるⅠ  
講師：性と生を考える会 代表 中田 ひとみ氏
- ・ハラスメント研修 2022年11月9日 講師：社労士 井上基子氏
- ・冬季法人研修 2023年1月14日  
性の多様性を知って考えるⅡ  
講師：性と生を考える会 代表 中田 ひとみ氏
- ・春季法人研修 2023年3月20日  
新年度へ向けた改善計画を考える
- ・毎月1回職員勉強会 ちいろば園 : 毎月最終木曜日 17:00~18:00  
グループホーム : 毎月第3金曜日 11:00~12:00
- ・奈良県行動援護従事者養成研修 1名受講
- ・授産商品販売促進事業 商品アドバイス会 1名受講

評価：・今年度より法人職員研修では、性の多様性について学んでいるが、知っているようで知らないことが多く、いずれの職員にとっても新たな学びとなっている。

- ・近年、職員の入退職が多いことから、先輩職員にとっては、新任職員への指導、教育が繰り返されることとなり、丁寧な指導が行き届いていない部分が散見される。

#### 【苦情申立、虐待報告と事故・ヒヤリ報告】

##### 1. 苦情申立て

- ・今年度内においては、苦情としての申し立ては発生していません。  
コロナ禍において、ご家族をはじめとした外部との日常的なやり取りが減少していることから、苦情としての申出が減少している部分もあると推測される。

##### 2. 虐待報告

- ・当年度中に虐待と認定すべき事案は発生していません。  
職員間での困難ケースへの支援方法等について、話し合いの機会を増やし予防に努めることが重要である。

・権利擁護委員会の開催状況

2022年6月15日、10月4日、2023年2月14日 年3回開催

日常の業務の中で、職員間でも見逃しがちな、不適切な支援や誤解を招くような対応について、振り返る機会とするために、できるだけ虐待の芽チェック表には具体的な記述を行い、職員間で気づきのなかった点を改善できるよう指摘しあうことが重要であることを確認することができた。

また、経験年数の少ない職員にとっても、日常業務では、訊きづらいことについても改めて質問できるような機会としたい。

3. 事故・ヒヤリ報告

・利用者のケガ 1件

評価：安全対策されていない器具を使用していたために、利用者の不注意により切り傷をおってしまった。機械、器具等を使用する際には、動作確認とともに安全性も確認してから使用するよう心がける必要がある。

・利用者間のトラブル 1件

評価：意味もなく利用者を待たせたことにより、不安になった利用者が隣にいた利用者に噛みついてしまった。

利用者の特性等を理解した対応ができていなかったことによるトラブルであり、予防的支援の必要性を職員間でも確認する必要がある。

【施設設備整備ならびに改修等】

- |                  |         |
|------------------|---------|
| ・ちいろば園本館屋上通管清掃工事 | 2022年4月 |
| ・ちいろば園食堂手洗い場改修工事 | 2022年9月 |